

「議会が変われば、まちも変わる」

この言葉は4年前の街頭演説で私が言った言葉です。今でもその気持ちは変わらずあります。同じことを町民の皆さんも感じているのではないのでしょうか。

今回の立候補に先立ち、自分の心の中で決めたことがありました。

住民の代表である議員の基本に立ち返ろう、一人でも多くの人に会い、言葉を交わそうと思いました。

地域の実情を聞き、私の持つ情報を伝え、地域の課題を考えていけるきっかけを作りたい、そう強く思いました。そして、挨拶回りの中で、自分たちの生活がますます生きづらくなっている状況、町の活力が落ちてきている現況を憂える声、議会への批判もありました。

でも、こんな時だからこそ、議会に期待したいという強い気持ちも痛いほど伝わってきました。

合併後9年目を迎える今、この町の未来は、これからの4年間で本当に重要となります。

現在、美波町は、過疎高齢化対策、新病院・診療所（保健センター）の建設・開院・運営、地震・津波への防災・減災対策、一次産業の振興、また合併10年経過後からの地方交付税の減額など、たくさんの課題を抱えています。

そして、その対策・対応は、待ったなしの状態です。

スピード感を持って判断していくことが重要であり、結果を先送りにした先に、結局は、町民にそのしわ寄せがいくであろうことに強い危機感を持っています。

議会は、町とともに、町民の幸せを最終目的に進んでいかなければなりません。

そのためにも、新たな情報を取り入れ、住民が正しく理解・判断できるよう正しい情報を伝える努力が必要であり、そのためにも、現状を断片的に見た思い込みや建設的でない議論は、議員自らがしっかりと勉強を積み重ねることで変えていかなければならないと考えます。

つまり、現状を的確に判断する目と、さまざまな意見をしっかりと聞く耳と、真剣に考え提言を述べる口を持つ、議員でありたいと思います。

そして、そういう議会にしたいと強く思います。

美波町の今を、未来を担うのは、ここで暮らす全ての住民です。けれど、方向性は行政と議会によって決まっていくのです。しっかりと議論のできる議会でなければなりません。

今後、ますますチェック機関である議会の役割も重要になってきます。

また、開かれた議会を目指す、その歩みは決して止めてはなりません。

これまでも、議会だより報告会の開催、議会インターネット中継の配信、また私個人の議員だより発行など、情報の提供に努めてきましたが、まだまだ足りない部分があります。

女性だからこそ気づく考えや、できる仕事が、必ずあります。

しっかりと情報を発信し、ひとつの町として、この町の将来を見据えながら、女性の視点でぬくもりのある町づくりに励んで参りたいと思っています。

まだまだ、経験も知識も浅い私ですが、揺るぎない熱い想いと、信念をしっかりと持ち、頑張っ  
てまいりたいと思います。

皆さんの一票が、美波町の今を、未来をつくります。どうか、皆様のご支援を賜りまして、私に次の4年間を与えてください。その4年間、皆様の期待にしっかりとお応えすることをお誓いし、ご挨拶といたします。